

# NHKソチオリンピック・パラリンピック放送 テーマソング アーティスト発表

2020年のオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることになりました。日本国内のオリンピックへの関心が高まっていますが、来年のソチ大会でNHKの放送のテーマソングを担当するアーティストが決定しました。

アーティスト名

# コブクロ

## ■今回のテーマソングのねらい

4年に一度の夢の舞台、オリンピック。大勝負を前に、選手たちの胸には、どんな思いが去来するのでしょうか。ライバルへの雪辱を誓ったあの日のことでしょうか。挫けそうになる度に励ましてくれた家族の顔でしょうか。選手にはみなドラマがあります。そのドラマのクライマックスが、オリンピックです。栄光をつかむ者もいれば、涙する者もいます。しかし、どんな結果であれ、選手たちは、人生を凝縮させた最高の輝きをみせます。そんな選手たちへ心からのエールを送りたい、また応援する私たちの思いを音楽で表現したい、そう考え、「コブクロ」のお二人にNHKソチオリンピック放送テーマソングをお願いすることにしました。

## ■アーティスト選考のポイント

人々の心に響く表現力を持ったアーティストであることをポイントとしました。数々のヒット曲を生み出した「コブクロ」は、世代や性別を超えて広く支持を受けています。一瞬にかける選手の気持ちを素直に表現し、私たちに大きな感動を与えてくれる楽曲になるものと期待しています。

なお楽曲については10月末の発表を予定しており、NHKでは、大会期間中のオリンピック放送のオープニングタイトルやエンディングテーマをはじめ、大会前のオリンピック関連番組、PRスポットなどで使用することになっています。

## ■NHKオリンピック放送テーマソングの歩み

1988年	ソウル	浜田麻里	「Heart and Soul」
1992年(冬)	アルベールビル	-----	
1992年	バルセロナ	寺田恵子	「PARADISE WIND」
1994年(冬)	リレハンメル	高橋真梨子	「遙かな人へ」
1996年	アトランタ	大黒摩季	「熱くなれ」
1998年(冬)	長野	F-BLOOD	「SHOOTING STAR」
2000年	シドニー	ZARD	「Get U're Dream」
2002年(冬)	ソルトレークシティ	MISIA	「果てなく続くストーリー」
2004年	アテネ	ゆず	「栄光の架橋」
2006年(冬)	トリノ	平原綾香	「誓い」
2008年	北京	Mr.Children	「GIFT」
2010年(冬)	バンクーバー	ラルク アン シエル	「BLESS」
2012年	ロンドン	いきものがかり	「風が吹いている」

**2014年(冬)ソチ**                      **コブクロ**

# コブクロ



(左)黒田俊介 (右)小淵健太郎

## ■プロフィール

小淵健太郎は1977年3月13日生まれ。宮崎県出身。黒田俊介は1977年3月18日生まれ。大阪府出身。ストリート・ライブ活動を通じて出会い意気投合、1998年9月に「コブクロ」を結成した。インディーズ時代から幅広い世代の支持を集め、2001年3月、ワーナーミュージック・ジャパンより「YELL～エール～/Bell」でメジャーデビュー。

2005年5月、ドラマ主題歌として発売された「ここにしか咲かない花」、同年11月に発売した「桜」が共に大ヒットを記録。年末のNHK紅白歌合戦にも初出場を果たした。

2006年9月には初のベスト・アルバム「ALL SINGLES BEST」をリリースし、オリコン4週連続1位を獲得。

2007年にドラマ主題歌として発表されたシングル「蕾(つぼみ)」が第49回日本レコード大賞を受賞。

2010年11月17日(水)にドラマ主題歌のシングル「流星」がヒット。

2011年8月末に休養を発表。2012年7月に復活宣言し、9月5日に「ALL SINGLES BEST 2」をリリースし100万枚を突破。

2012年11月28日にシングル「紙飛行機」がドラマ主題歌としてリリース。

2013年5月より、2年ぶりのツアー「KOBUKURO LIVE TOUR 2013 One Song From Two Hearts」をスタートし、

7月20日、21日には、初のドーム公演となる京セラドーム大阪でのライブを大成功に終えた。

7月24日ダブルAサイド・シングル「One Song From Two Hearts/ダイヤモンド」をリリース。

12月18日(水)、4年4カ月ぶりとなるオリジナル・アルバム「One Song From Two Hearts」をリリース。

## ■コブクロからのコメント

2014年、ソチオリンピックのNHK放送テーマソングを作らせて頂く事になりました。この大会に向けて、日々努力をされているアスリートの方々が沢山います。その一瞬にかける情熱と、そこに生まれる感動や美しさは、冬季独特のものがあります。そんな場面の力になれる様なメロディーと歌詞を、今、模索しています。選手の方と、応援する多くの人々にとって思い出深い冬季オリンピックになるよう、僕等の音楽で後押しできたら良いなと思います。